

事故から学ぶ 石鎚山系 安全登山マップ

× …死亡事故発生箇所 ! …重大事故発生箇所

近年、登山をする方が増え、ここ石鎚山系での事故がとても増えています。今一度これから歩くルートを確認し、事故や体調不良のない安全な登山を!

石鎚山

鎖場 ▶ 滑落事故多発 / 石鎚山で最も危険な場所

鎖場は長い崖でほぼ垂直に切り立っている。壁面は北側に面し、濡れて滑りやすく相当な腕力が必要。恐怖心で動けなくなっても、逃げ場がないため安易に挑まないように! また、前社森付近の階段は傾斜がきつく、下山中に足を滑らせやすいので注意。



(左から) 三の鎖元 / 冬季の鎖場の迂回路。滑落事故が頻発している危険な場所 / 鎖場。高度感があり、恐怖心を煽られる。

ロープウェイ山頂成就駅

西之川ルート

成就社

! 転倒 40代女性 / 2月・60代男性 / 8月 八丁坂付近で転倒し骨折

× 道迷い

70代男性 / 時季不明 西之川ルート登山中遭難

! 体調不良

30代男性 / 5月 八丁坂付近で脱水症で動けなくなる

! 道迷い

20代男性 / 11月 登山中に岩原付近で道迷い

! 道迷い

30代男性 下山中に道迷い

バリエーションルート ▶ 道迷い頻発

成就・土小屋コース以外での遭難事例多し。主な原因は、登山道の不明瞭さ(崩落等)、ルート確認不足。ベテランでも注意が必要。



× 滑落

40代男性 / 3月 登山道から約50m滑落

! 転倒

50代女性 / 5月 下山中に階段で転倒し骨折

× 滑落

60代男性 / 11月 試しの鎖付近で約100m滑落

! 滑落

60代女性 / 4月 約20m滑落し重症

! 体調不良

50~70代男女 / 1・8月 下山中に足が痛くなり動けなくなる

× 滑落

60代男性 / 3月 鎖で下山中に約300m滑落

二の鎖 65m

一の鎖 33m

分岐注意

三の鎖 68m

! 滑落

60代男性 / 9月 山頂から約20m滑落・重症

× 転落

50代男性 / 4月 山頂の南側に転落

山頂 1982

! 道迷い

50代男性 下山中に道迷い

! 体調不良

40代男性 熱中症

ツナノ平分岐



土小屋登山口

山頂 ▶ 気が緩みがち 油断禁物!

登りは気持ちが高揚し不調があっても無理をして登るが、登頂後不調となるケースが多い。引き返す勇気と十分な水分補給を。弥山~天狗岳は熟達者向けのため注意。



成就・土小屋ルート分岐 ▶ 下山の道を間違えるな!

二の鎖元の鳥居付近に成就社・土小屋方面の分岐あり。ここで間違え下山前に日没となり動けなくなる人が多い。ルートの確認はしっかりと!



石鎚山系 (広域)

○ 横峰寺

× 道迷い

70代男性 / 8月 道迷い後に遭難

愛媛県

× 滑落

60代女性 / 2月 登山道から滑落

× 道迷い

60代女性 / 11月 道迷い後に遭難

× 滑落

60代女性 / 8月 沢登り中に滑落

! 道迷い

60代女性 / 10月 登山中に道迷い

! 道迷い

40~50代男女 / 時季不明 下山中に道迷い

× 滑落

70代男性 / 3月 もみじ谷を下山中、滑落

保井野登山口

高瀑の滝

成就社

八丁坂

瓶ヶ森

瓶ヶ森 駐車場

西黒森

伊予富士

寒風山

寒風山 駐車場

冠山

平家平

大座礼山

梅ヶ市登山口

堂ヶ森

土小屋登山口

伊吹山

! 体調不良

60代女性 / 時季不明 山頂で熱中症に

道迷い遭難が多発 ▶ 迷ったら戻るべし!

照明器具を持たない状態で道に迷い、日没後動けなくなるケースが多い。また、迷ったら沢や谷には下らず、登り返すか、尾根を目指して上がること!

石鎚山系 安全登山情報



事故から学ぶ 石鎚山系 安全登山マップ

登山をする方が増え、ここ石鎚山系での事故がとも増えています。
今一度これから歩くルートを確認し、事故や体調不良のない安全な登山を！

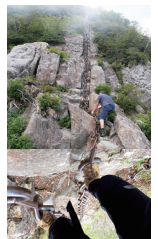
マップの見方

- 1 死亡事故発生箇所
 - 11 重大事故発生箇所
- 事故状況など詳細は右下欄に記載。

石鎚山

鎖場 滑落事故多発 / 死亡や重症事例多し

鎖場は長い崖でほぼ垂直に切り立っている。壁面は北側に面し、濡れて滑りやすく相当な腕力が必要。恐怖心で動けなくなっても、逃げ場がないため安易に挑まないように！
また、前社森付近の階段は傾斜がきつ、下山中に足を滑らせやすいので注意。



バリエーションルート 道迷いが頻発

主要コース以外での遭難多し。主な原因は登山道の不明瞭さ、崩落、ルート確認不足。ベテランでも注意が必要。

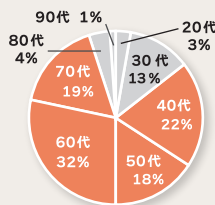


事故白書 2005-2021

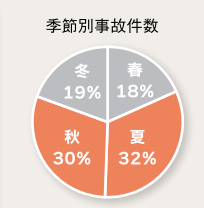
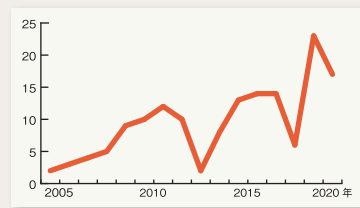
この山域の事故の特徴をまとめたのでぜひ参考にしてください。

年代別事故件数 シニアの事故多し

40代以上、特に60代以上のシニア世代の事故が多い。登山ブームを経験した人の体力過信や、情報不足による事故が多く見受けられる。



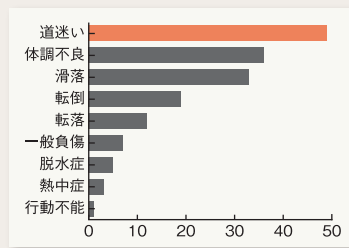
年・季節別事故件数 登山人口増に伴い件数も増加



SNSやメディアで登山情報が多く見られたことや、感染症の影響でのアウトドア人口増が背景にあると考えられる。季節別で多いのは、初心者が増える夏～秋と雪や氷が残る春先。

原因別事故件数 道迷いが最多

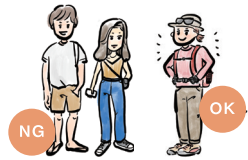
道迷いによる行方不明が多く、中でも知識・経験不足と疲労による判断力低下によるものが多い。また、夏季はシニア世代の熱中症や脱水症も頻発。



登山前に確認!

服装は天候変化に対応できる?

軽装の登山者が非常に多く見受けられるが、体温調節できるよう重ね着を。登山用以外の発熱インナーは、汗をかきやすく冷えやすいのでNG。



ライトはいつも携帯

登山では、予定が後ろ倒しになる可能性は大いにある。日帰りでもライトは持参を。



紙の地図も用意

登山アプリは便利だが、スマホが使えない状況を想定し、紙の地図とコンパスの準備もしておこう。



携帯の充電は十分?

登山中はアプリ利用や電波受信で電池が消耗しやすくなる。モバイルバッテリーも携帯を。



体力の過信は禁物!

下山時の疲労や転落などで動けなくなる事例が多発。寝不足、飲み過ぎ、食事抜きも危険。



こまめに水分補給を

熱中症や脱水症予防のため、こまめに水分・塩分を採ろう。水分だけは熱中症リスクあり!



登山計画を立てよう

ルート、コースタイム、危険箇所などを必ず事前に確認。登山届も提出を(ネットでも可)。



天気を確認しよう

現地の天候や積雪状況に合わせた装備を準備! 天候が悪化しそうときは、日程変更を。



鎖場はヘルメットを

鎖場から滑落しての死亡や重症事故が多数。ヘルメットひとつで救われる命があります。



道迷い遭難多発 迷ったら戻るべし!

照明器具を持たない状態で道に迷い、日没後動けなくなるケースが多い。また、迷ったら沢や谷には下らず、登り返すか、尾根を目指して上ることが!

事故発生状況

- 1 50代男性 / 4月 / 石鎚山山頂の南側に転落
- 2 60代男性 / 3月 / 二の鎖付近下山中に約300m滑落
- 3 40代男性 / 3月 / 前社森付近の登山道から約50m滑落
- 4 60代男性 / 11月 / 試しの鎖付近で約100m滑落
- 5 70代男性 / 時季不明 / 西之川ルート登山道道迷い遭難
- 6 60代女性 / 8月 / 高瀬の滝付近を沢登りに滑落
- 7 60代女性 / 2月 / 高瀬の滝付近の登山道から滑落
- 8 70代男性 / 8月 / 横峰寺付近で道迷い後に遭難
- 9 60代女性 / 11月 / 西黒森付近で道迷い後遭難
- 10 70代男性 / 3月 / もみじ谷を下山中、滑落
- 11 60代男性 / 9月 / 石鎚山山頂から約20m滑落・重症
- 12 60代男性・50代男性・70代女性 / 1・8月 / 夜明峠で下山中に足が痛くなり動けなくなる
- 13 60代女性 / 4月 / 前社森付近から約20m滑落、重症
- 14 30代男性 / 5月 / 八丁坂付近で脱水症で動けなくなる
- 15 40代女性 / 2月・60代男性 / 8月 / 八丁坂付近で転倒し骨折
- 16 40代男性 / 8月 / 土小屋ルートで熱中症で動けなくなる
- 17 50代男性 / 10月 / 下山中に大森山付近で道迷い後に遭難 ※発見に至らず
- 18 30代男性 / 10月 / 下山中に刀掛付近で道迷い
- 19 20代男性 / 11月 / 西之川から登山中に岩原付近で道迷い
- 20 60代女性 / 時季不明 / 伊予富士山頂で熱中症に
- 21 60代女性 / 10月 / 寒風山を登山中に道迷い
- 22 40~50代男女 / 時季不明 / 笹ヶ峰下山中に道迷い

石鎚山系連携事業協議会

データ提供: 愛媛県警・西条市消防本部 (2005~2020年度)

